

「 白山市行政経営指針 2025（案） 」に対するご意見と市の考え方について

募集期間：令和7年2月3日(月)～2月17日(月)

結 果：1名の方から2件の意見

パブリックコメントに寄せられた計画案へのご意見・ご要望と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

ご意見・ご要望	市の考え方
移住において、子どもの教育環境は重要な要素です。 ジオパークは学びの場として非常に魅力的で、フィールドワークや体験型学習に最適です。石川県立自然史資料館の「恐竜博士養成入門講座－実物に触って学ぼう－」はその好例であり、地域の資源を活かした教育の可能性を示しています。 また、全国的に人気がありながら、北陸には教室がない民間の教育機関を誘致することも有効だと考えます。子育て世帯は教育環境を重視するため、教育の充実した自治体が選ばれ、持続的に発展できると考えます。	ご意見のとおり、移住・定住の促進において、魅力的な子どもの教育環境づくりは重要であると考えます。 特に「白山手取川ジオパーク」につきましては、本市における特色ある教育活動のひとつとして、ジオ遠足などの自然体験・フィールドワーク、専門機関の方々を招いた探求型の授業や課外活動等を行っており、「ユネスコ世界ジオパーク」の認定を機に、今後も一層、さまざまな機会を通じて展開していくことを考えております。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
地域コミュニティ活動の情報の透明性と負担の軽減も課題だと感じています。町内会や体育協会、消防団の活動内容が外から見えにくく、役員になると想像以上に拘束されることがあります。これらの活動を定期的に見直し、負担を軽減する仕組みを整備することが重要です。	本市においては、令和6年4月から各種団体が参画する地域コミュニティ組織が設立され、この中では各種団体の担い手不足といった地域課題があげられております。 市としましては、34「地域コミュニティによるまちづくりの推進」にあります、多様な住民の皆さまが役員に参加しやすくなるよう、地域住民と連携して解決に向けて取り組んで参りたいと考えています。